

## 第3回南知多町総合計画評価委員会 議事概要

日時 令和5年7月21日(金)

13:30~16:30

場所 南知多町役場大会議室

### 出席委員 別紙名簿のとおり

委員長	千頭 聡	日本福祉大学 国際福祉開発学部教授
副委員長	山下 かず代	社会福祉協議会代表

### 傍聴席

1人

### 議事次第

あいさつ

- 1 評価委員会について
- 2 委員長、副委員長の選任
- 3 前回評価結果について
- 4 町民による評価

議 題

- (1) 第7次南知多町総合計画評価委員会の進め方(資料2)
- (2) 第3期アクションプラン(案)の説明(資料3、4、5、6、7)
- (3) 基本施策の評価(グループワーク)について(資料3、4、5、6、7)
- (4) 評価結果(発表及びまとめ・講評)について(資料7)
- 5 その他

開会（司会：企画財政課長）

あいさつ（町長：石黒 和彦）

## 委員の委嘱・委員及び職員照会について

（司会：企画財政課長）

委嘱通知は時間の都合ため、受付にて当日資料と共に配布した。

委員及び職員の紹介についても同様の事由にて配布した「委員名簿」及び「グループ名簿」で代えさせていただく。

### 1 評価委員会について

（司会：企画財政課長）

資料1の南知多町総合計画評価委員会設置要綱により説明。

- ・第1条により、評価委員会を設置する。
- ・第3条により、モニターはじめ21名の委員に依頼した。
- ・第4条により、委員の任期は4年以内とし、再任を妨げない。
- ・第5条により、委員長及び副委員長を置く。
- ・第6条により、評価委員会は町長が招集し、半数以上委員の出席により開催する。
- ・その他、評価委員会は、原則公開とする。

### 2 委員長、副委員長の選任

（司会：企画財政課長）

委員の互選により、千頭聡委員が委員長となる。

委員長あいさつ（委員長：千頭 聡）

（司会：企画財政課長）

千頭委員長の指名により、山下かず代委員が副委員長となる。

### 3 前回評価委員会の結果について

（司会：企画財政課長）

第2回評価委員会の結果については、町公式ホームページに掲載。評価委員会全体の議事録、各グループの記録書まとめ、評価委員会意見に対する回答、参加者アンケートを掲載している。

第3回の評価委員会についても同じように、結果の掲載する予定である。

町民意識調査の自由意見に対する回答についても、同じくホームページ上で公開している。

#### 4 町民による評価

(司会：企画財政課長)

要綱の規定により、以降の議事の進行は委員長にお願いしたい。

(委員長：千頭 聡)

今年度はグループで1～2施策を評価する形となっているため、時間が十分にとれない可能性はあるが、時間の限り議論をしてもらいたい。

#### 議題(1) 第7次南知多町総合計画評価委員会の進め方

##### 【事務局の主な説明】

資料2「南知多町総合計画評価委員会実践マニュアル」に沿って要点を簡潔に説明。

- ・評価委員会は、地域やまちをより良いものにするため、行政と町民が意見交換を行う。
- ・アクションプランの内容、具体的には、グループワークで各担当より説明する実施計画書や事業評価書の内容が町民ニーズに合っているかなど、意見交換を行い、評価を行う。
- ・当日の流れは、事務局からのアクションプラン全体の説明が20分、その後、グループごとに会議室を移動し、各施策の評価、グループワークで意見交換が75分とし、グループワークの結果を発表する。最後に、委員長にまとめ・講評をいただいて評価委員会を終了とする。
- ・意見交換はグループワークで行い、1チームで1～2施策を担当。
- ・各グループの進行役、記録、タイムキーパー、評価結果の発表は全て町職員が行う。
- ・いろいろな立場、考え方の人が集まり、意見交換を行うため、協力して新たな発見や共通の方向性を見出す場としたい。
- ・役場の取組みに対して、こうしたらもっと良くなるなどの提案やアイデアをいただけるとありがたい。
- ・この事業をやってほしいとか予算をつけてほしいとか、個別具体的な要望をお聞きする場ではないのでご理解いただきたい。
- ・施策の評価は、グループワークの中で実施し、委員の主観で構わない。

#### (2) 第2期アクションプラン(案)の説明

##### 【事務局の主な説明】

(資料3について)

- ・アクションプランの構成を説明。
- ・第1章はアクションプランの導入部分であり、総合計画の目標指標(KGI)、管理指標(KPI)の推移をまとめたもの。
- ・第2章は実施計画書(重点政策に基づく主要事業)がアクションプランの核となる部

分で、翌年度以降3年間の事業計画となる。

- ・第3章は業務改善推進計画書（業務改善の取組）は、予算を伴わない日々の業務改善の取組で令和6年度までの推進計画。第2章、第3章がアクションプランの計画部分。
- ・第4章は事業評価書（予算科目ごとの事業評価）は、個々の予算事業のPDCAサイクルを実践し、成果の向上と事業の効率化を図ろうとするもの。
- ・第5章は施策評価書（基本目標・基本施策の進行管理）は、町民による評価のしくみとしてモニター制の町民意識調査による満足度を数値化して、定量分析を行っている。また、数値で測ることのできないニーズについて自由意見などをもとに定性分析を行っている。
- ・資料編（財政計画表、町民意識調査結果、職員意識調査結果）は、町HPに公開。
- ・目標指標（KGI）は、令和30年度時点で概ね10,000人の人口を維持するために、出生数として75人を目標としています。令和4年度は45人と目標の75人を下回っている。
- ・基本施策の管理指標KPIについては、21施策中8施策が上がり、9施策で下がっている。
- ・行財政マネジメントのKPIについては、4施策中、すべての施策で上昇している。役場内部の様々な業務改善の浸透により、職員の実感度は上がってきていると感じている。

#### （資料5について）

- ・資料5の実施計画書まとめは、第2章をまとめた資料で、重点政策に基づく主要事業候補として64事業選定している。

#### （資料6について）

- ・資料6は、第3章の業務改善の取組みとして計画したものを1枚にまとめたもの。

#### （その他）

- ・資料5の右下の財政計画は、歳入の見込みをベースにしたもの。実施計画として歳出を積み上げた金額とは乖離しており、実施計画の合計、歳出が上回ります。この評価委員会の意見を踏まえて、各課室は実施計画の内容を精査していく
- ・町長ヒアリングで最終調整を行ったあと、公表したアクションプランに基づいて、各課室は予算要求をしていく。
- ・町の財政状況によって不採択、次年度以降先送りとなる事業もございます。アクションプランに掲載された事業であっても予算が約束されるものではない。

#### （委員長 千頭 聡）

ここまでの説明の中で質問や意見がある方はいるか。

質問等が無い場合、次の評価についての説明を聞いて、再度質問等を受け付ける。

### (3) 基本施策の評価（グループワーク）について

#### 【事務局の主な説明】

- ・各グループで会議室を設定しているので名札に書いてある会議室へ移動をお願いしたい。
- ・グループワークの時間は75分で設定しているが、休憩・移動も含めて75分。
- ・次の議題である発表が15時30分に開始できるように集合していただきたい。

#### (委員長：千頭 聡)

- ・配布されている評価シートを意見交換会を通して埋めていただきたい。
- ・行政の取り組みの中で、その結果で住民の満足度の上がり下がりを見ながら評価をしていただきたい。
- ・各グループで分かれた際にわからないところがあれば改めて職員へ聞いていただきたい。

(チーム・グループはそれぞれ会議室に分かれて、基本施策の評価を実施。14:00～15:30)

#### 【Aチーム（A・Fグループ）】

- 1－4 個性を活かす障がい者福祉
- 2－7 働く環境づくり

#### 【Bチーム（Bグループ）】

- 1－2 次代の担い手を育む教育環境

#### 【Cチーム（C・Gグループ）】

- 3－5 暮らしを支える地域公共交通
- 3－3 資源を活かす土地利用

#### 【Dグループ（D・Eグループ）】

- 2－1 豊かな海と産物を活かした水産業
- 2－6 価値ある産業を残す事業継承支援

#### 【Wグループ】

- 4－1 職員の成長とやりがい

#### 【Xグループ】

- 4－2 業務の高度化、効率化

【Yグループ】

4-3 町民の満足度向上

【Zグループ】

4-4 持続可能な行財政運営

(4) 評価結果（発表及びまとめ・講評）について

【事務局説明】

グループワークでの意見交換結果を1グループ3分以内で発表。

(各グループ発表用資料と意見交換結果は町HPで別に公表する)

(委員長：千頭 聡)

- ・団体数などのアウトプットではなく効果であるアウトカムを評価した方がよいという意見があったが、これは大事な意見。
- ・マッチングという言葉が出ており、収入を増やしたい漁師と人が足りない民宿などのマッチング等、これを誰がするかというところで行政が間を取り持つことは有効だが、民宿と漁協に接点があれば住民でも行えかるかもしれない、行政を介すと同時に、みなさんが属している組織同士で情報交換ができるといいかもしれない。
- ・情報のことで、住民の方に伝わっていない。伝えましたではなく、伝わったかが大事。住民にどう伝わったかの検証をすることが大事。評価で地域との協働の点数が低かったところが多かったなのでそこは課題だと思う。どこも財政状況は厳しいため、地域との協働は絶対に必要だが、それぞれ分野で難しいところもあるが、地域の力を行政がどう活かすかが大事になってくる。職員や住民も含め南知多町に関わっている人の力をどう活かすのかという視点が大切。何かをする際に、この人や団体に頼めばもっと良くなるという目線で物事を考えるのも大事。
- ・管理指標で行財政マネジメントの評価が高すぎるという意見があったが、職員の評価が高まっていることはいいことである。その他の管理指標とそれぞれの施策との関連について意識していく。計画が指標に基づいて評価していく限りは、指標とそれぞれの施策との関係性はもう少し掘り下げると、PDCからAへつながる。
- ・日間賀島の子どもたちは漁師になりたくない？30年前にゼミ生と日間賀中学校という話をしたが、全員に将来どんな仕事に就きたいかを聞いたら全員が漁師になりたいと答えた。大変すごいなと思った。今はどうなのでしょう。
- ・総合計画の一番大事にしたい目標は、出生数を75人で維持・増やしていくことであるが、総合計画も来年度見直しの作業に入っていくと話されていたが、出生数75人をどうやって達成できるのか。子どもを産まないことは個人の選択の問題であり、

誰かが強制する問題でもない。出生数は、みなさんがいろんなことを考えた時にこの町で子どもを産みたいと思える究極のアウトカムかもしれません。どこかで出生数を増やすということは、どういうことを達成できれば出生数につながっていくのかを議論していたかと思うが、中間見直しではいろんな立場でみんなと議論することが必要かなと感じた。

(副委員長：山下 かず代)

- ・行財政マネジメントの4-2で評価したが、職員が一生懸命やっていることがわかった。住民が行政のみなさんに意見を届ける貴重な場に立ち会えてありがたいと感じた。大好きな南知多町がもっと発展させるように、出生数が45人の話で、もっと周りで南知多町が好きな人を増やしたいと強く思った。

(委員長：千頭 聡)

- ・みなさまは他にも今後接点今度役場へ来たときに企画財政課長へ改善点を伝えてくれれば。アドバイスでもなんでもお話しいただければと思う。

## 5 その他

### 【事務局の主な説明】

- ・本日の意見は、記録書としてまとめ8月より町長とのヒアリングで協議を行い、9月下旬第3期アクションプランとして公表を予定している。
- ・本日の出席者の方には謝礼を支払いさせていただく。
- ・アンケートの記入をお願いしたい。
- ・来年度、前期最後の評価委員会を実施する。是非次回もご出席をいただきたい。

## 閉会

(司会：企画財政課長)

以上をもって、第3回評価委員会を閉会とする。

この評価委員会へのご意見等がありましたらいつでもお声かけください。

ご協力いただき大変ありがとうございました。

以上

### 第3回南知多町総合計画評価委員会

### 出席者名簿

町職員：55名

評価委員：21名

出欠

出欠

町執行部	町長	石黒 和彦	○
	副町長	高田 順平	○
	教育長	高橋 篤	○
	総務部長	大岩 幹治	○
	建設経済部長	滝本 恭史	○
	厚生部長	相川 和英	○
	教育部長	鈴木 淳二	○

委員長	日本福祉大学教授	千頭 聡	○
-----	----------	------	---

出欠

事務局	企画財政課長	滝本 功	○
	主幹兼企画政策係長	相川 和英	○
	企画政策係	山下 公大	○
	〃	松本 聖生	○

### 行財政マネジメント（4-1～4-4）グループ表

#### Wグループ

#### 【施策】4-1

出欠

町職員	成長戦略室長	山本 剛資	○
	建設課長	山本 剛	○
	産業振興課長	奥川 広康	○
	学校給食センター所長	宮地 利佳	○
評価委員	商工会代表	太田 彰	○
	プラスチック団地代表	宮本 邦彦	○
	教育委員会代表	内田 美里	○

#### Xグループ

#### 【施策】4-2

出欠

町職員	総務課長	坂口 増和	○
	住民福祉課長	田中 直之	○
	環境課長	富田 和彦	○
	健康介護課長	坂本 有ニ	○
	議会事務局長	田中 達也	欠
評価委員	観光協会代表	鈴木 甚八	○
	社会福祉協議会代表	山下 かず代	○

#### Yグループ

#### 【施策】4-3

出欠

町職員	防災危機管理室長	石黒 俊光	○
	健康子育て室長	大久保 美保	○
	学校教育課長	鈴木 和芳	○
	社会教育課長	森 崇史	○
評価委員	愛知県	原 一雄	○
	民生・児童員代表	山川 律子	○

#### Zグループ

#### 【施策】4-4

出欠

町職員	会計課長	山本 有里	○
	税務課長	内田 純慈	○
	水道課長	山下 哲矢	○
	保険年金室長	山下 忠仁	○
評価委員	農業協同組合代表	大岩 徳夫	○
	金融機関代表	榊原 英治	○
	男女共同参画	秦 由岐穂	○



基本施策1-1～3-7 グループ表

**Aチーム**

Aグループ 【施策】(1-1), 1-4, 1-6      Fグループ 【施策】2-7, (3-4), 3-7  
 【R5評価施策 1-4】      出欠      【R5評価施策 2-7】      出欠

町職員	児童係長	中村 英樹	○	業務係長	百合草 文哉	○
	総務係長	山下 英将	○	環境衛生係長	那須 大輔	○
	福祉医療係長	北川 峰子	○	道路港湾係長	相川 知久	○
	管理係長	細田 茉希	○	広報情報係長	榊原 康広	○
	社会福祉係長	井上 和貴	○	人事係長	相川 洋輝	○
評価委員	モニター	家田 倫子	○	モニター	山下 茂	○
	モニター	坂下 栄子	欠	モニター	大岩 徹	欠

**Bチーム**

Bグループ 【施策】1-2, 1-3, (1-5)  
 【R5評価施策 1-2】      出欠

町職員	学校教育係長	大崎 沙久実	○
	健康推進係長	鈴木 佳子	○
	給食係長	齋藤 桂	○
	国保年金係長	松本 伸弘	○
	住民税係長	宮地 利式	欠
評価委員	モニター	須賀 萌乃	○
	モニター	滝本 孝治	○
	モニター	大松 展子	○
	一般公募	林 保志	○

**Cチーム**

Cグループ 【施策】(1-7), 3-5, 3-6      Gグループ 【施策】(3-1), 3-2, 3-3  
 【R5評価施策 3-5】      出欠      【R5評価施策 3-3】      出欠

町職員	社会教育係長	石黒 欽也	○	防災安全係長	戸田 竹彦	○
	成長戦略室主任主査	内田 健二	欠	成長戦略室主任主査	堤田 健太	○
	スポーツ係長	滝本 義紀	○	固定資産税係長	磯部 貴宏	欠
	戸籍住民係長	間瀬 桂輔	欠	徴収係長	片岡 克紀	欠
	地域包括支援係長	堀之内 浩子	欠	検査管財係長	保母 公次	○
評価委員	モニター	内田 智美	○	モニター	石橋 伊鶴	○
	モニター	岩尾 哲彌	欠			

**Dチーム**

Dグループ 【施策】2-1, 2-2, (2-5)      Eグループ 【施策】(2-3), 2-4, 2-6  
 【R5評価施策 2-1】      出欠      【R5評価施策 2-6】      出欠

町職員	農政係長	土井 美香	○	財政係長	上米良 勇太	○
	水産係長	鈴木 誠	○	高齢者介護係長	伊藤 友規美	欠
	都市計画係長	石橋 暁登	○	工務係長	鈴木 喜彦	欠
	環境保全係長	家田 直政	○	商工観光係長	坂本 圭志	○
	出納係長	吉原 裕人	○	成長戦略室主任主査	奥村 卓矢	○
評価委員	モニター	坂野 豊和	○	モニター	鈴木 ひとみ	○
	モニター	林 浩子	欠			